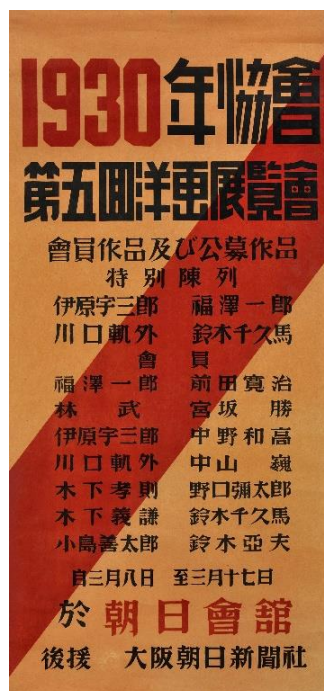


小島善太郎資料研究 (2)

小島善太郎は、1930年協会の創立から独立美術協会に至るまで、一度も両協会から離れることなく、会員として活動した唯一の画家です。そのため両協会の様々な資料が小島の手元に残されました。ここでは、1930年協会最後の展覧会となった第5回展から独立美術協会発足にかけての資料の一部を紹介します。

わずか5人ではじめた1930年協会は第2回展から公募制をとり、回を重ねるごとにその規模を広げ、勢いを増してゆきます。その一方で、創立メンバーの木下孝則、佐伯祐三の再渡仏、佐伯祐三のパリでの客死、里見勝蔵の離脱、さらに前田寛治の病没と足並みを乱し、同会は次第に求心力を失くしていきました。そして1930(昭和5)年、独立美術協会結成をもって事実上解消します。

独立美術協会は、11月1日に「茲に我々は各々の既成団体より絶縁し、独立美術協会を組織す。以て新時代の美術の確立せん事を期す」と協会発足を宣言しました。発足時に二科、1930年協会他複数の団体から集った創立会員は林重義、林武、伊藤廉、川口軌外、小島善太郎、児島善三郎、三岸好太郎、中山巍、里見勝蔵、清水登之、鈴木亜夫、鈴木保徳、高島達四郎の13名。以降、現在に至るまで画壇に大きな位置を占める団体となったのです。



第5回展は東京で1930(昭和5)年1月17日～31日に、大阪で3月8日～17日に開催されました。前年に開催された第4回展は東京、大阪のほか、札幌でも開催されました。

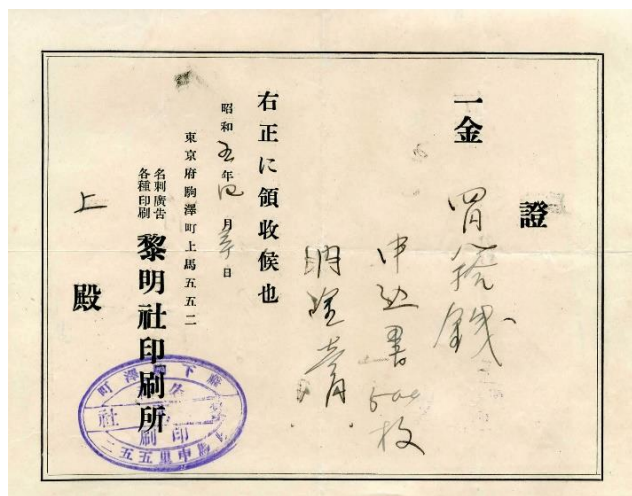
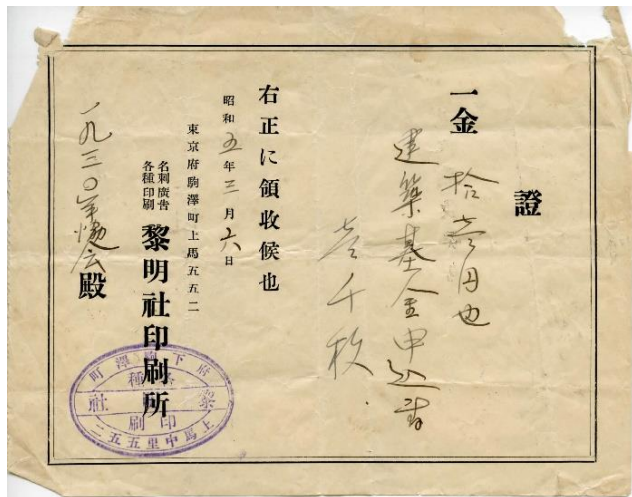
1930年協会第5回展年鑑、画集、ポストカード、絵はがき売上表

小島善太郎資料研究(1)で第2回展の売上表を紹介しましたが、回を重ねて作表にも成長が見られます。ポストカードと絵はがきの区別は写真紙焼き版と印刷版の区別のようにです。

絵はがき売り上げトップは断トツで前田寛治、次いで伊原宇三郎、鈴木千久馬が後を追い、中山巍を挟んで中野和高、そして川口軌外。前田、伊原、鈴木、中野と帝展組が強いですが、中山が前々年、伊原、鈴木、川口は前年パリから帰国したばかりで、新帰朝者への関心の高さもうかがえます。前田は帝展の若きスターであったとともに、1926(大正15)年9月から前田写実研究部を開設しており生徒を持っていた強みもあったことが考えられます。

1930年協会建築基金申込書印刷代金領収書

最後の開催となった第5回展から独立美術協会創立前夜までの1930年協会の動向をうかがい知ることができる資料です。



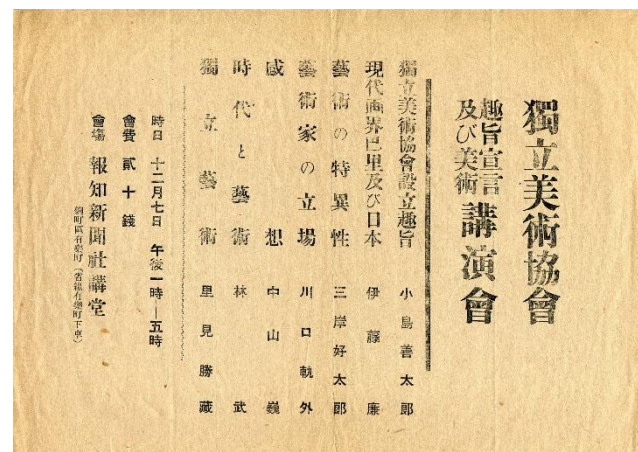
1枚目は昭和5年3月6日付、建築基金申込書1,000枚の印刷代金の領収書。3月8日～17日に開催された第5回展大阪会場に向けて印刷されたものかもしれません。2枚目は昭和5年4月30日付、申込書500枚の印刷の内金支払いの領収書。こちらは実際には印刷されなかった可能性もあります。

美術雑誌『アトリエ』昭和5年11月号に実際には開催されなかった第6回展公募の告知広告を出したことが分かっていますし、この領収書からも、第5回展終了後も1930年協会には存続・発展の意思があったことがうかがえます。ただし、4月の領収書の宛名は「上」となっており、同協会のその後を暗示しているようにもとれます。

独立美術協会趣旨宣言及び美術講演会ビラ

1930（昭和5）年12月7日、独立美術協会結成が高らかに謳われ、同時に講演会も開催されました。小島善太郎が会を代表して設立趣旨を述べています。独立美術協会が1930年協会の後継とされるのは、当時のこうした小島のポジションによるところもあるでしょう。

独立美術協会第1回展は翌1931年1月に東京府美術館（現東京都美術館）で開催され、総搬入数3,751点、入選作品271点でした。その後京都、鹿児島、福岡、名古屋でも巡回展示されました。



独立美術研究所集合写真

1932（昭和7）年2月1日、淀橋に移転した独立美術研究所のアトリエ開き。同研究所は前年、杉並と池袋に開設されていました。写真前列中央に小島善太郎。真正面を向き、足を前に投げ出すのは、小柄だった小島が度々見せた得意のポーズです。盟友の里見勝蔵は右端に立ち、やや斜め上を見えています。小島とは対照的に、中央には立たず、やや斜に構えるのが、里見のお決まりのポーズだったようです。



独立美術協会第2回夏期講習会集合写真

東京では神宮外苑、日本青年館で1932年8月1日～10日まで開催されました。この年は和歌山、大阪、名古屋でも開催されています。なお第1回夏期講習会は東京、名古屋、大阪での開催でした。1930年協会以来、展覧会を東京以外で開催するだけでなく、講演会や講習会も各地で積極的に展開しました。前列右から林武、三岸好太郎、福沢一郎、二列目右端に小島善太郎。

